

そうだったの!?

言葉や国語について考えるこの欄は、文化庁の「国語に関する世論調査」などを参考にしてている。

冷奴の「やっこ」とは

夏の食卓を彩る冷奴。豆腐に薬味と醤油（塩もうまい）があれば、すきっ腹は満たされる。気の短い江戸っ子にぴったりの昔ながらの和製ファストフード。

この「奴」とは、新明解国語辞典（三省堂）によると「もと家っ子で下男の意味。江戸時代の男だて、侠客」をいう。同等以下の者に親し

みをこめて「奴さん、なかなかやるな」と成長を喜ぶときなどに使ったようだ。

さて冷奴である。奴は半纏（はんてん）を着ていることが多く、半纏には「釘抜紋」と呼ばれる四角い大きな紋が付いていた。その紋が豆腐の形に似ていることから奴豆腐、冷奴というようになったという。

豆腐はダイエット食品として、外国人にも好まれている。パックの蓋を開け、スプーンで食べ始めた外国人女性に出会ったことがある。食べている姿だけならヨーグルトか豆腐か分からない。

先輩から「奴、スプーンでやってみろ」と言われても…。こればかりは国際交流にしり込みする。